

石木ダムは
要らんばい

元建設省土木研究所次長・工学博士
石崎勝義さん講演会

治水の切り札は

堤防強化と川さらえ



川棚川口の波止(昭和六年)

『大村藩の街道と宿場』から

日時：2021年1月23日(土)
14時～15時30分

(開場13時30分)

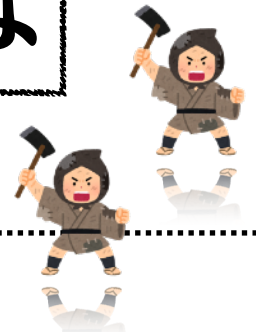
場所：①川棚町中央公民館 講堂
②Zoom会議 ③ツイキャス放送 同時開催

参加費：無料！(会場カンパ、ネットカンパ大歓迎!!)

振込先：長崎県央農業協同組合 川棚支店 普通口座

口座名：石木川とほたるの里を守る会 口座番号：0066043

「石木川とほたるの里を守る会」は「石木ダム建設に反対する川棚町民の会」の以前の団体名です



【参加方法】

1. 公民館... コロナ禍のため講堂は先着100名まで。超過の場合50名までサブ会場。

2. Zoom... ①<https://bit.ly/3mF9Eqn>にアクセス→「外部ミーティングに参加」

②「参加」という青いボタンをクリック→Zoom会議に参加。

*ミュート(無音)設定にしています。発言される場合はミュートを解除してください。

3. ツイキャス... Twitter等で事前告知&「治水の切り札」で検索。

【問い合わせ】090-4519-2528 (炭谷まで)

主催：石木ダム建設に反対する川棚町民の会

協力：石木ダム建設に反対するみんなの会

【講演会次第】

- 14:00 「昔の川棚川」住民の昔語り
14:15 石崎勝義さん講演会
14:45 質疑応答（会場およびZoom参加者）
15:15 まとめ・連絡事項

【今回の講演テーマ】

川原の里は日本の宝！

問1 石木ダムがないと川棚川で水害が起きるのですか？

- ・満杯の堤防とは
- ・千曲川で復活させた住民の力
- ・川棚川の場合

答 満杯の堤防と掘削で水害に耐えよう

問2 球磨川の水害はなぜ起きたのか？

- ・2001年 耐越水堤防を封印させた
- ・2008年から河道掘削を放置し続けた
- ・「川辺川ダム」があっても水害は防げなかった

答 「川辺川ダム計画」が球磨川の水害を引き起こした

問3 川原と清流を子孫に手渡すために

- 答
- 1 浸水に耐える暮らしの覚悟
 - 2 伝統的な河川工法
 - 3 流域マネジメント（森林・トイレ等）

川原の宝をもっと知ってもらおう！



「（石木ダムの）治水目的が残っているようですが、浸水の恐れのある戸数は少ないと聞きました。

それなら堤防強化と必要に応じて河道掘削を加えれば、少ない費用で治水目的が達せられるのではないかと思います。」（石崎さん談）

【石崎勝義さんプロフィール】

- いしざき かつよし 1938年生まれ。
- 工学博士・技術士(河川砂防及び海岸、河川環境)
- 東京大学工学部土木工学科卒。
- 旧建設省で河川局災害対策室長、土木研究所次長などを歴任。
- 1997年から2003年まで長崎大学環境科学部教授。
- 常総水害被害者を支援する会共同代表。
- 鬼怒川水害裁判をささえる会共同代表。